

# 主要事業評価シート(第2次実施計画 / R1・2・3年度)

基本事項	計画コード	事業名	部名	産業建設部
	17062	創業等支援事業	課名	産業振興課 商工業・地域交通G
	施策の大綱	03:交通拠点性を生かした都市活力の向上	財務	会計 01:一般会計
	基本施策	02:地域に根ざした商工業の活性化	款	07:商工費
	施策の方向	04:新たなビジネスの創出	項	01:商工費
戦略プロジェクト	-	目	02:商工業振興費	
事業予定期間	H 29 ~ R - 年度	主な根拠法令要綱等	三重県市町連携型中小企業金融支援補助金交付要領	

目的・概要	対象	市内での創業予定者や創業後間もない事業者
	目的	当地域の創業支援機関と連携しながら、創業しやすい環境を整備し、市内での創業を目指す若者や女性等を積極的に支援することにより、創業希望者を増やし、地域産業の活性化を図るとともに、雇用対策を推進する。
概要		市内での創業予定者や創業後間もない事業者を対象に、専門家を講師とした創業支援セミナーや個別相談会を開催する。また、創業資金融資にかかる保証料及び利子の一部を補給することにより、スタート段階における資金繰りを支援するとともに、創業後においても亀山商工会議所をはじめとした地域の創業支援機関と連携し、継続的な支援を行う。

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
年度計画	○創業支援セミナーの開催		○創業支援セミナーの開催	○創業支援セミナーの開催	
	○創業融資にかかる保証料補給		○創業融資にかかる保証料補給	○創業融資にかかる保証料補給	
	○創業融資にかかる利子補給		○創業融資にかかる利子補給	○創業融資にかかる利子補給	
	○空き店舗等活用支援補助金の交付		○空き店舗等活用支援補助金の交付	○空き店舗等活用支援補助金の交付	
年度実績	創業支援事業(創業塾)の開催(全4回)				
	受講者数10人 小規模事業者等経営支援事業(専門相談) 延べ6社12回 創業融資にかかる保証料補給 7件 保証料補給額 計512,800円 創業融資にかかる利子補給 10件 利子補給額 計232,600円 空き店舗等活用支援補助金 2件 2,500,000円				
事業の計画・実績	計画額	事業費	5,600千円	5,600千円	5,600千円
		国庫支出金			
		県支出金	400千円	400千円	400千円
		地方債			
		その他			
一般財源	5,200千円	5,200千円	5,200千円		
事業費	予算額	事業費	5,100千円		
		国庫支出金			
		県支出金	396千円		
		地方債			
		その他			
一般財源	4,704千円	0千円	0千円		
決算額	決算額	事業費	4,317千円		
		国庫支出金			
		県支出金	78千円		
		地方債			
		その他			
一般財源	4,239千円	0千円	0千円		
人件費	人件費	総人件費	3,925千円	0千円	0千円
		一般職員	3,925千円	0千円	0千円
		所要人員	0.50		
		会計年度任用職員等	0千円	0千円	0千円
総コスト( + )		8,242千円	0千円	0千円	
受益者負担率		0.0%	0.0%	0.0%	

			令和元年度	令和2年度	令和3年度		
指標	名称	創業セミナー受講者数	活動				
			計画値	20	20	20	
			実績値	10			
				単位	人	人	人
	名称	創業者数	成果				
			計画値	4	4	4	
			実績値	1			
				単位	事業者	事業者	事業者
	名称	創業資金融資制度利用者数	活動				
計画値			2	2	2		
実績値			10				
			単位	事業者	事業者	事業者	
		新たに創業資金融資にかかる保証料及び利子補給の対象となった市内創業者数					

事業の改善	前回評価	<p>【前回評価の対応方針の概要を記入】</p> <p>若者・女性の創業等への積極的支援として、平成30年度に創設した亀山市空き店舗等活用支援事業補助制度(対象経費の2分の1、上限額100万円)を拡充し、創業者が若者・女性である場合に限り、補助金上限額をこれまでの1.5倍となる上限額150万円に拡充する。</p> <p>創業セミナー、創業融資にかかる資金繰り支援は、継続実施する。</p>
	改善行動	<p>【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】</p> <p>亀山市空き店舗等活用支援事業補助制度について、若者や女性の創業意欲が増進されるよう、創業者が若者・女性である場合に限り、これまでの補助金上限額を100万円から150万円に拡充した。</p> <p>また、創業セミナーについても、講師の選定や開催時期(夏休み期間中の8月の土曜日)の工夫など、若者や女性が参加しやすい環境を整えた。</p>

		評価	(判定)
事業の評価	活動	<p>【計画どおりに実施できたか】</p> <p>平成25年度から創業セミナーを毎年度開催しており、令和元年度末の累計受講者数は99名となった。令和元年度については、若者や女性の創業意欲が更に増進されるよう、創業セミナーの内容を商工会議所と協議しながら工夫(講師の選定や開催時期)するとともに、空き店舗等活用支援補助金制度を創業者が若者・女性である場合に限り補助金の上限額を150万円に拡充した。</p>	A
	成果	<p>【成果は順調に上がったか】</p> <p>創業セミナーの内容を工夫した結果、受講者のうち若者4人、女性4人の参加があり、そのうち令和元年度における創業件数は1件であった(創業セミナー開催時からの受講者による市内での創業は累計で16件)。また、空き店舗等活用支援補助金については、若者・女性の支援内容の拡大を行った結果、令和元年度実績2件のうち、1件は女性による創業であった。さらに、創業資金融資制度利用も10件あった。創業者の負担軽減と経営の安定を図ることに努めたが、目標とした創業セミナー受講者数20人、創業者数4人は達成できなかった。</p>	B
			計画どおり実施できた
			まずはまず成果を得た

今後の対応方針	課題	<p>【課題は何か】</p> <p>若者や女性が創業する事例も増えてきたが、にぎわいのある商業地域を形成していくためには、後継者となる若い世代の創業者の支援が必要であることから、継続的に創業セミナーの開催や資金繰り支援を行っていく必要がある。</p>	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 <p>【その他の場合、その内容を記載】</p>
	対応	<p>【課題に対し、どのように対応するか】</p> <p>令和元年度に拡充した空き店舗等活用支援事業補助金制度(対象経費の2分の1、上限額150万円)を積極的にPRし、若者・女性の創業につなげる。また、創業セミナーについても、引き続き若者・女性が参加しやすい内容や時期を工夫していく。</p>	
	効果	<p>【対応することで、どのような効果が期待できるか】</p> <p>商工会議所と連携することで、創業者のニーズに応じた専門的かつ総合的な相談対応ができる。また、創業セミナーや空き店舗等活用支援事業補助制度、創業資金利子補給制度など、様々なメニューにより市内創業予定者を支援し、創業につなげることで、商業の活性化及びにぎわいの創出が期待できる。</p>	
	対応時期	令和2年度	

【1次評価者】	産業建設部 産業振興課 商工業・地域交通グループリーダー 井上 和哉
【最終評価者】	産業建設部 産業振興課長 富田 真左哉

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	A	A	A		
	成果	A	B	B		

令和元年度予算額(事業費)の内訳

予算額(事業費)		5,100 千円
内訳	平成30年度からの繰越額	千円
	令和元年度の最終予算額	5,100 千円
	令和2年度への繰越額	千円